

科目名	教育の社会制度論			担当教員	中島 葉子
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2EFE103
期待される学修成果	基礎教養 学校と社会				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義の到達目標は次の7点である。1.教育制度が学校教員の日々の教育活動を支えていることを理解し教育制度に関する興味・関心・考察を表現する。2.公教育の各原理および現代日本の公教育制度の課題を該当する法をあげながら説明できる。3.公教育の原理という視点から現代日本の公教育制度の課題を議論できる。4.法体系および教育行政、教育委員会制度の基本的仕組みを説明できる。5.教育行政の原理を理解した上でその現代的課題を議論できる。6.学級編制および学校安全について関連する法をあげながら基本的用語を用いて説明できる。7.学校安全および学校と地域の協働のあり方について意義や目的を理解した上で課題を議論できる。				
授業の概要	本講義は、①公教育の原理と課題、②教育行政制度、③学校という制度・組織という教育制度に関する3つのテーマを通して、学校教員の日々の教育活動を支える公教育制度とその根拠となる法的規定を理解するとともに、教育の制度に関する諸問題を、社会変動や社会構造の観点も交えながら考察することを目的とする。とくに公教育のあり方や学校教育のあり方について、基礎的知識を踏まえたうえで現代の課題とは何かを理解する。その際に教育が政治や行政システムとも関連することを学ぶ。2年次として必須の基礎知識を獲得し、獲得した知識をもとに各テーマの現代的課題について学生自身の教育観や教師像を深めるために考察する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	教育制度の概観
第3回	公教育の原理 1 ―機会均等―
第4回	公教育の原理 2 ―義務性―
第5回	公教育の原理 3 ―無償性・中立性―
第6回	公教育制度における課題 1 ―日本における学校再編―
第7回	公教育制度における課題 2 ―学校教育の課題とオルタナティブ教育―
第8回	公教育制度における課題 3 ―教育機会確保法と多様な学び―
第9回	公教育制度における課題 4 ―多文化化する学校と子ども―
第10回	教育行政制度 1 ―教育法規の体系と教育行政―
第11回	教育行政制度 2 ―教育行政の組織と原理―
第12回	教育行政制度 3 ―教育委員会制度の原理と改革
第13回	学校という制度・組織 1 ―学級編成―
第14回	学校という制度・組織 2 ―学校安全
第15回	学校という制度・組織 3 ―学校・地域・家庭

事前学修	2時間	第1回：シラバスの熟読、第2-14回：各回のテーマに沿った新聞・web記事等から情報収集し、内容をまとめる、第15回：全体を見直し理解できていないところを中心にまとめる
事後学修	2時間	第1-15回：講義内容の確認し、疑問点等の考察を文章にまとめる
フィードバックの方法	事後学修課題および授業内で提示する課題の返却、解答・解説の提示	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	50%	基礎的知識の定着および活用を測る。詳細は授業中に指示する

上記以外の試験・平常点評価		50%		事後学習課題25%、授業内で提示する課題25%	
補足事項					
教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
なし		なし	なし	なし	なし
参考資料		小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 木村元，2015,『学校の戦後史』岩波新書			